

水面月

水泳部のクールな彼女が寝取られるまで

DOJIN  
R18  
成人向け  
18歳未満の  
購入・閲覧禁止



んっ…コーチっ

こんな場所で  
ダメだっ…

誰かが入って  
きたらっ

ギシッ

ギシッ

あ…悪いな霧沢

お前見てたら  
ムラムラが抑え  
きれなくなったわ

ご…ゴムも  
付けてな…

ちゃんと外に  
射精するから  
安心しろって

あッ!

ビク

ゴウッ

ゴウッ

ゴウッ

ゴウッ

ゴウッ



あゝ気持ちイイ♪

ていうかまんこめっちゃ絡みついてくるんだけどw

あッ

はっ

はっ

これ締めまり良すぎて  
そっこう射精そうだわ

ま…まてッ  
中はダメだ！  
外にーッ

はいはい  
わかってます  
よ…っとッ

んああッ

ちゃんと抜いて  
やるからそっちも  
盛大にイキなよ

イケッ

あッ

ほらいケッ

あッ





全てはあの日の  
過ちから——

——  
数日前







部活中に  
いちゃついて  
んじゃねーぞ♪



ま〜じ〜ま〜

…タオル  
ありがとう



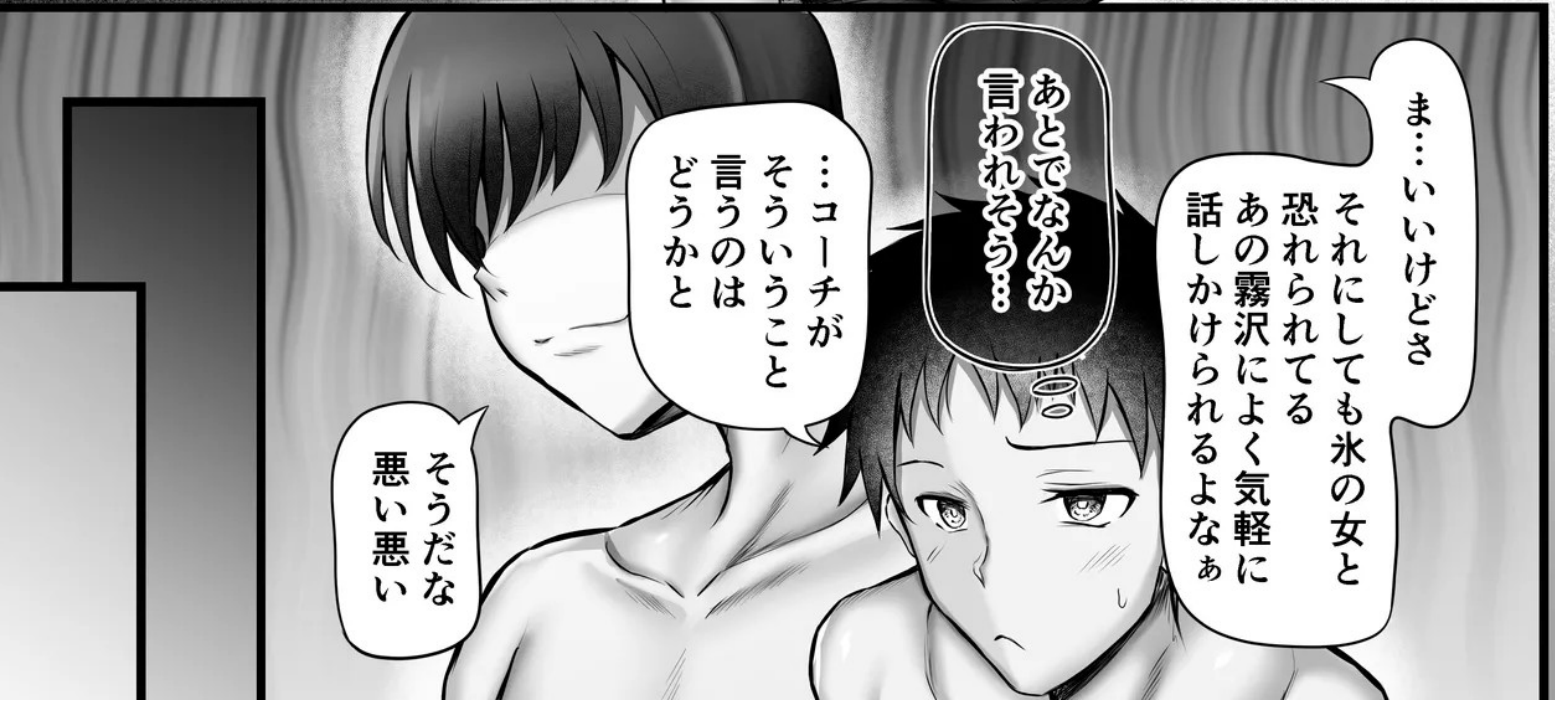
コーチッ!  
別にいちゃついて  
ないですからッ

そうは見えない  
けどなあw

つーか歳も近いし  
敬語じゃなくて  
いいって言ってるだろ?

…ていうか  
めっちゃ  
こっち見てる

いやそういう  
わけには…



ま…いいけどさ  
それにしても氷の女と  
恐れられてる  
あの霧沢によく気軽に  
話しかけられるよなあ

あとでなんか  
言われそう…

…コーチが  
そういうこと  
言うのは  
どうかと

そうだな  
悪い悪い



…ああ

霧沢先輩？  
まだ練習してた  
んですか？



…って

誰か残ってる？

ザッパァ…  
ん…？



霧沢先輩が言うとは  
冗談に聞こえない  
ですよ…って

どうかしました？

は？

…名前

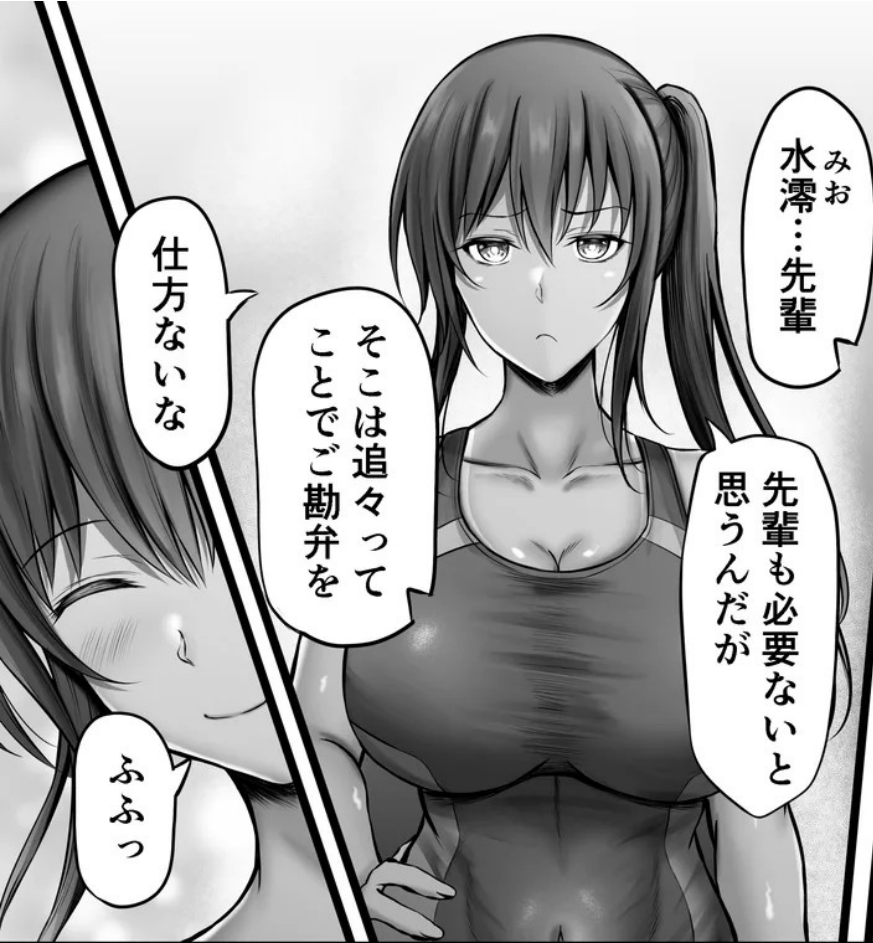


私のような氷の女は  
誰もいない時間の人が  
恐れられずに済むしな



冗談だ

ソレ言っただの  
俺じゃないですよ！







まさか

…幻滅したか？

クフ♡

ブル。。



もしかして先輩…

最初から  
そのつもりで  
居残りして  
ました？

ドキ

ドキ



先輩…俺もう…

くちゅ。。♡

ああ…私もだ

クズ♡

クズ♡



クールなようで  
実はすごくエッチな…  
そんな先輩が彼女なんて

正直…最高です

ドキ♡

喜ぶべきなのか  
微妙なところだな…

ドキ♡



あッ…はあッ


アッ♡








すまないシユン  
私のせいで…



さてここからが  
大事なところ  
なんだけど




この動画…  
見なかったことにして  
消去してもいいと  
言ったらどうする？



!?




ニヤ..




……



…条件はなんですか？



話が早くて助かるよ



まあ薄々察しは  
ついてると思うけど



コーチの出した条件は  
想像通りのゲスなものだった

ほら遠慮せずに  
あがりなよ




結構片付いてるだろ？

いつでもゲストを  
招待できるように  
日頃から心がけてるからね

脅した相手をいつでも  
連れ込めるように…  
の間違いでは？

ははっ

確かにそういう表現も  
間違いではないなあ



その物怖じしない  
性格はさすがだね

そんなことより  
約束は本当に  
守ってくれるんですか？

それはもちろん



夏休みまでの十日間…  
霧沢の身体を好きに  
させてくれたら  
動画は消去するし  
誰にも口外はしない

約束は守るさ

そもそもキミらの行為を  
騒ぎ立てても俺には  
なんの得もないわけだし  
約束を破る理由がないだろ？

…どうだか

それよりさっそく  
始めようか

さすがに少しは緊張して  
くれているみたいだね

やれやれ…本当に  
素っ気ないな

まあいいさ

ッ！

スル。



それにしても  
本当にいやらしい  
身体をしているね

部活中いつも  
この身体を好きに  
したいと思っ  
ていたんでね



言いつけ通り  
ちゃんと水着を  
着てきたようだね



水着の上からでも  
わかるくらい  
硬くなってるし

んくうッ



んっ...くっ

へえ...感度は  
いいみたいだ  
これは責め甲斐が  
あるなあ...



なんだ...コレ

必死だねえ♪



自分でするのとも  
シユンに触られる  
のとも違う...ッ

くうっ...んんッ

そんなに無理して  
声を抑えなくても  
この部屋は防音だから  
隣や外には聞こえないよ？



まあ俺はぞんぶんに  
聴かせてもらおうけど

くっッ！  
グッ...

うっ...うっ



イクッ!

んんんううッ!



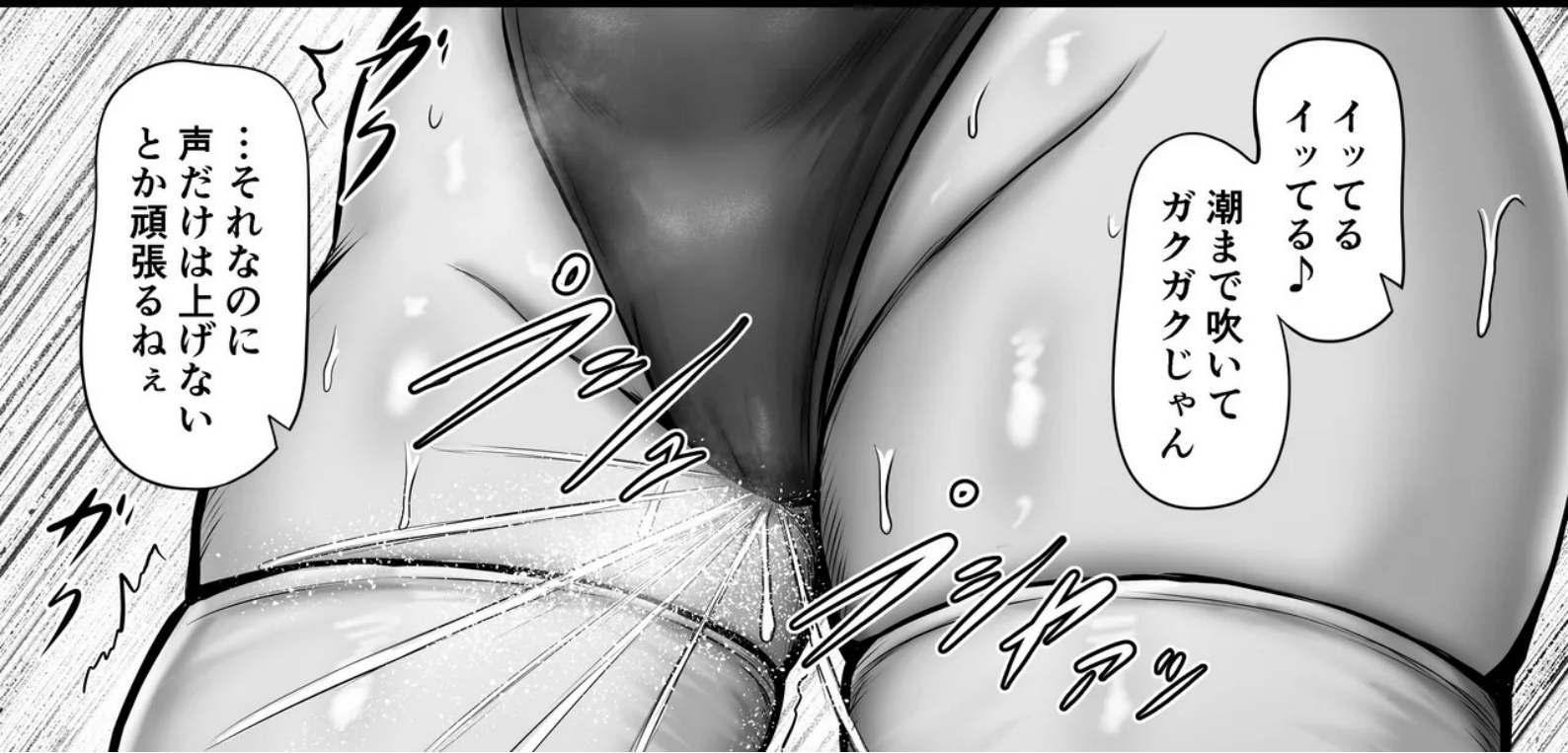
お…くるか?

あッ…くッ…



ほらほら  
我慢は身体に  
毒だぞ〜♪

だっ…ダメだっ  
これ…きちやッ…



…それなのに  
声だけは上げない  
とか頑張るねえ

イッてる  
イッてる♪  
潮まで吹いて  
ガクガクじゃん



さて…と

それじゃあ次は  
こいつを気持ち良く  
してもらおうか

—え？



こんなに簡単に  
イカされるなんてッ

ガクッ  
ズ



いきなり挿入れても  
いいんだけど…  
せっかくだし口で  
してもらおうかな

く…口で？



ちよっと…まて

なんだ…  
この大きさ



どうせ初めてって  
わけじゃないんだろう？

真島にしてる  
みたいによって  
くれればいよいよ

くっ…

ギョッ…

シユン以外のモノを  
舐めるなんて…  
だが今の私に  
拒否権なんて…



んっ…ちゅぴ…

はー！

ちゅく。

ちゅく。

はー！

れろっ…はあ…

へえ…真島のは  
そういう風に  
舐めてやってるのか

か…彼の名前を  
いちいち出すな



無駄口はいいから

舐めるだけじゃなくて  
啜えこみなよ

くっ…！



悪い悪い  
今は彼氏のちんぽ  
より目の前のちんぽに  
夢中なんだもんな♪

ふざけたこと…ッ



んんうッ

ああ…いい感じだ

大きすぎて  
息がうまくできなッ…

このまま口の中に  
出すから…  
しっかり搾り取ってよ

んぐッ!

ブルッ…



射精るッ!

んぐッッ!

あゝ気持ちイイ…♪  
射精止まらないわ

んぐッッ

びゅん

びゅん



それどころか…  
さっきより大きい!?

いまあんなに  
射精したばかりなのに  
どうしてもう…

ま…まて

は?  
一回や二回射精した  
くらいで萎えるわけ  
ないじゃん

むしろウォーミングアップが  
終わってこれからって感じ?



すごい…量も濃さも  
シユンと全然違う…

ふう…  
よかったよ

ドキ…

ドロ〜



さて…と

それじゃあ  
お互いに一回ずつ  
達したところで



そろそろ本番  
といこうか

なっ…!?

明日は休日  
部活も休みだし

ビクッ  
クチュ

クチュ

これかの十日間が  
どういう日々  
なるのか知って  
もらうためにも

今夜は徹底的に  
やりまくるつもり  
だから覚悟しなよ

——シュンツ!

すまな……

……!

……水滯先輩?

お



知らないッ

こんなの知らないッ!



なんだこれッ

あッ...あッ



いいねえ  
その反応

はッ

初めてを  
味わえなかったのは  
残念だったけど

彼氏一途の純情まんこに  
未知の快感を教え込むのも  
嫌いじゃないから良しとするか!

あッ

んあッ...

こんな深い  
ところまで  
届くなんてッ

亀頭が子宮の  
入り口をぐつぐつ  
叩いてくるッ

真島としていた時よりも  
色っぽくないか？

いい声で啼く  
じゃないか

そんなわけ…

んじゅんじゅん！

だ…ダメだ…  
声が抑えきれないッ

はッ

い…イカされた  
こんなに  
あっさりと…

ッ!?





キミみたいな  
強気な女の子を  
服従させたいって  
男は山ほどいるからさ

ま…俺もまさしく  
そのひとりなんだけど♪



感じたくないのに  
身体が気持ちいいって  
反応してしまうッ!



突かれるたびに  
快感が押し寄せてッ



おおっと…  
こっちもイキそうだ

悔しいっ…  
イキたくないッ

ほら射精すぞッ

イキたくないのにッ!

またイカされるっ！

あああッ

んあああッ！

射精すっ！

ゴム越しでも勢いがハッキリとわかるッ



ふう…出た出た

やっぱイッてる最中の  
まんこに射精するのは  
締まりが違って格別だな

おまッ

おまッ?

ブルッ  
おぼっ

ブルッ



夜はまだまだ  
長いんだからな



はあ…はあ…

絶頂の余韻が  
ずっと続いている

呆けるには  
早いぞ

まだ…続く?

その後も  
コーチは休むことなく  
私の膣内を犯し続けた

す…少し  
休ませ…

まったく萎えることなく  
張り詰め続ける怒張が  
膣内を貫くたびに  
抗いがたい快感が私の中に  
植え付けられていき…

何度も何度もイカされ続け  
気を失いそうになるたびに  
背筋を駆け抜ける強烈な  
刺激によって再び意識は  
現実へと呼び戻され…

もうずっとな  
イッてるからあー!

イッてるッ

おっ

おっ

んあ





ふう…仕方ないな  
これで最後にするか

いつしか私は  
抗う気力を失っていた

もう許して…

お…終わる？  
これでやっと…

ぐちゃ…♡  
ぐちゃ♡

はぁ…

はぁ

ブルッ



それじゃあ最後に  
思いっきり激しく  
ヤッて締めるとするぞ！

おおおッ！  
んああああッ

おっ

グッ

おっ

グッ



イクイクツ

ビク

ムアッ!

ムアッ!

ビク

ムアッ

ゾク

ビク

ゾク

ムアッ

ムアッ

盛大にさあ...



我慢せずにイキな

ムアッ

ムアッ

ムアッ



これが真正正銘 今日最後の一発だ

ムアッ

ムアッ



イクツ...

ムアッ

ムアッ

イックウウツ!

イッチまいなあ!

イッてるう!  
ずっとイカされてるう!

はぁ

お?

あぁ

お

絶頂の余韻に  
震えながら  
ふと窓の外を見ると  
すでに空は  
白み始めていた

そこで私は  
本当に一晩中  
犯され続けていた  
のだと気付いた…

はあ…

はあ…

ふう…ヤツたヤツた

あつ

どうだい？  
最高に気持ち  
よかっただろ？

んんっ…

ああ…

今日のところは  
これで終わりに  
するけどさ

その問いかけに  
反論する気力すら  
残ってはいなかった

約束の期日までは  
たっぷり時間があるし

まだまだキミの  
知らない快感を  
教え込んであげるから


楽しみにしてなよ？

薄れゆく意識の中で  
聞こえたその言葉に  
全身がブルッと震えた

それはこんな日々が  
まだ続くという恐怖：  
あるいは嫌悪だったに違いない



——それ以外の感情など  
あるはずがないのだから



発行日：2025年1月11日  
発行者：カナナ(サークル水面月)

この物語はフィクションです。  
18歳未満の購入、閲覧、所持を禁じます  
本作品の無断複製・転載・インターネットへの  
アップロード・AI学習を禁じます。

© 2025 カナナ

